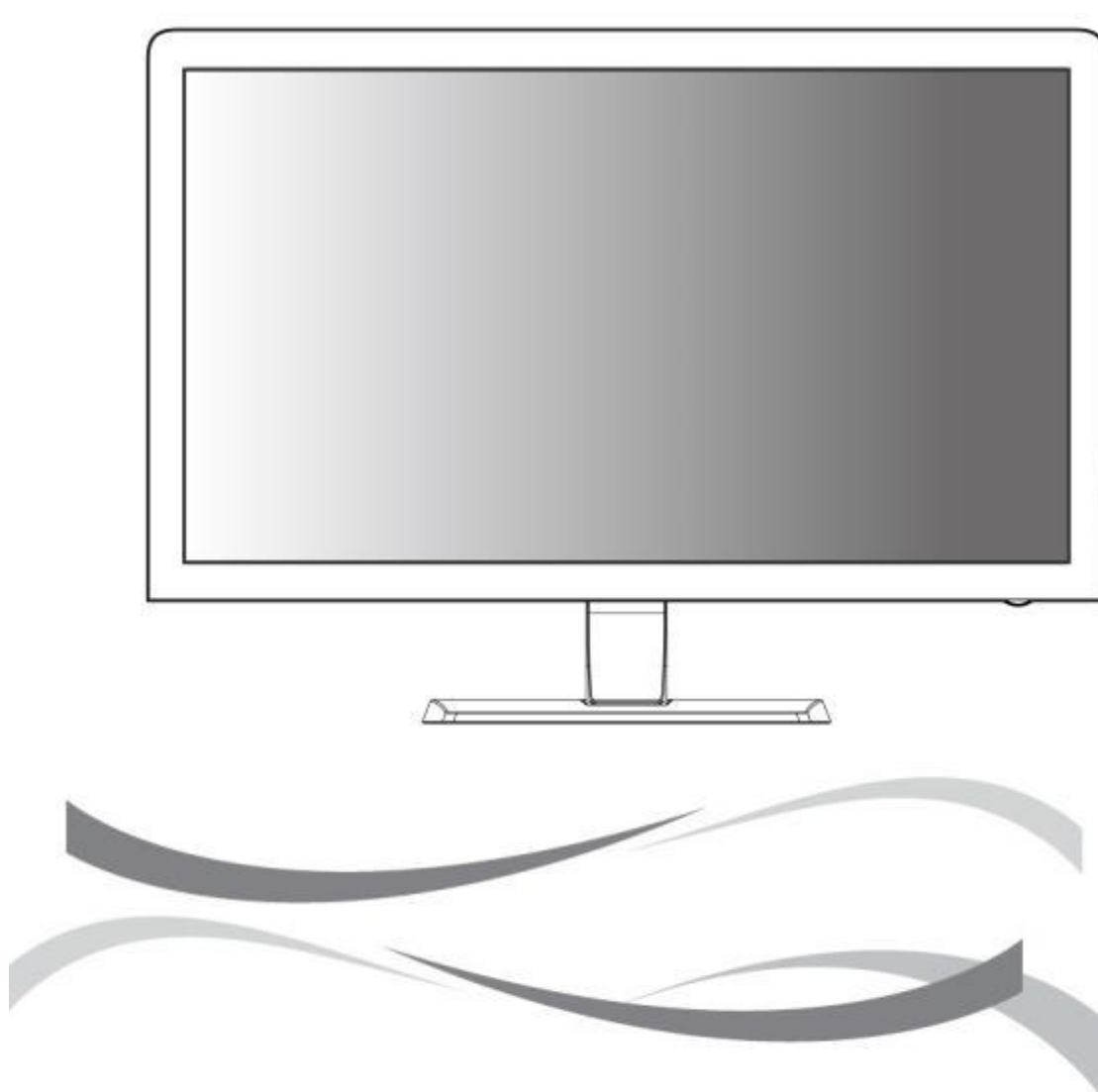


AUT-LCD27WQ-G



27型 WQHDモニター

AUT-LCD27WQ-G

ユーザーズマニュアル

使用前の注意.....	3
警告：.....	3
設置上の注意.....	4
J-Moss対象物質の含有状況について	5
廃棄について.....	5
液晶ディスプレイについての注意事項.....	6
本製品の特徴.....	6
付属品.....	7
スタンドの取り付け.....	8
モニターの画面角度調整.....	9
信号ケーブルの接続.....	10
電源コード.....	10
各部名称.....	11
1. 入力ポート（左から順）	11
2. ファンクションキー（上から下に）.....	12
操作の概要.....	13
1. 基本操作	13
2. ファンクションキーの説明	13
3. オンスクリーンディスプレイ（OSD）による一連の調整方法	15
1. [SETUP]メニュー	16
(1) Language/言語.....	16
(2) DCDi	16
(3) DLC.....	17
(4) Color Domain/Color Space.....	17
(5) Source Detect/入力検出.....	17
(6) Factory Reset/工場出荷持設定	18
2. [Audio Settings/オーディオセッティング]メニュー	19
(1) Mute/ミュート	19
(2) Volume	19
(3) Main input.....	19
(4) Main output.....	20
(5) Pip Input/PIP Input.....	20

(6) Pip Output/PIP Output.....	20
3. [PBP Settings/画面分割]メニュー.....	21
(1) PIP Mode	21
(2) PIP Position	21
(3) PIP Source	22
4. [Geometric/幾何補正]メニュー	23
(1) Auto Adjustment	23
(2) H-Position	23
(3) V-Position.....	24
(4) Phase.....	24
(5) Clock/Line	24
(6) Auto Color	24
5. [Image Settings]メニュー	25
(1) Brightness	25
(2) Contrast	25
(3) Sharpness/シャープネス	25
(4) Scheme	25
(5) Aspect Ratio/アスペクト比.....	26
(6) Color Temp/色温度.....	26
トラブルシューティング	27
一般的なトラブルの解決方法.....	27
仕様.....	28
プリセットディスプレイモード（解像度）	- 29 -

使用前の注意

ご使用前に、必ず本マニュアルをお読みください

注意：

- 本製品を改造、変更すると[映像]の乱れや、[ラジオ、無線]などの機器への電波妨害による干渉が生じます。お客様または、第三者による本製品の改造、変更を行わないでください。
- お客様または、第三者が本製品を改造、変更または誤使用により生じた故障やその他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 本製品は、人命に関わる設備や機器、及び高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器(医療関係、航空宇宙関係、原子力関係等)への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器での本製品を使用したことにより人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

警告：

- 本製品は屋内専用品です。屋外で使用しないでください。また、湿気や水気のある場所で使用しないでください。火災、感電、その他の危険があります。

設置上の注意

- 浴室、洗面台、台所の流しや食器洗い機の近く、洗濯機の近くなどの湿気の多い場所または、湿度の 高いプールや地下室などで本製品を使用、設置しないでください。
 - 不安定なキャビネットやテーブル、いすの上に本製品を設置しないでください。万一、本製品が落下 した場合に、怪我や本製品が破損、故障する可能性があります。
 - 本製品の裏側には、上部と下部に通風孔があります。この通風孔は、本製品のご使用により発生する 熱を逃がすためのものです。万一、通風孔をふさぐことがあると、本製品内に熱がたまり、故障の原 因や火災の原因になります。設置する際には、下記事項を注意ください。
- ◇本製品をベット、ソファ、毛布、布団、その他類似した布類、毛足の長いラグやカーペットの 上に設置しないでください。
- ◇風通しが確保できない、ラックやボックス、周りが壁などに囲まれた狭い場所に設置しないで ください。
- ◇本製品使用時は、通風孔を布などで覆ったりしないでください。
- ◇暖房器具などの熱源の上、近くに設置しないでください。
- ◇本製品の設置時には上部、左右面は壁などから最低 10cm 以上離して設置してください。
- 電源は AC100-120V もしくは、220-240V をご使用ください。AC100V は付属の電源コードをご使用ください。100V 以外の電源では、使用電圧に適合する電源コードをご準備ください。規格外、若しくは間違った電源コードをご使用になりますと、火災や故障の原因になります。
- 本製品は、アース端子付の電源コードを使用しております。アース付コンセントに差し込んでください。アース付コンセントがない場合には、アース付変換アダプタをご使用になり、コンセントに差し込んでください。ただし、アース線は必ずお近くのアース端子に接続してください。
- (アース線の接続は、電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、取り外す際は、必ず電源プラグを抜いてからアース線を取り外してください。アース線をコンセントに入れたり、触れないように注意してください。感電、故障の原因になります)
- アース端子付プラグのアース端子を取り外して使用しないでください。感電する危険があります。
- 本製品を長期間使用しない場合には、火災、感電等の事故防止のために電源プラグを抜いてください。
- 電源コードの上に物を置いたり、挟んだりして電源コードを破損させないでください。感電や火災の原因になります。
- 本製品の通風孔などから、本製品内部に異物を入れないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- 電源コードを誤って踏んだり、引っかけたりしないように配線してください。また、近くのコンセントに差し込んでください。
- 電源コンセントや電源コードの定格を超えて使用しないでください。また、たこ足配線は避けてください。火災の原因になります。

J-Moss対象物質の含有状況について

J-Moss（電機・電子機器の特定化学物質の含有表示に関する新企画）とは、「資源有効利用促進法」で指定する家電製品及びパソコンの7品目を対象に、6物質の含有表示を電気・電子機器の製品本体等
に実施するものです。

*J-Mossで含有表示の対象となる6物質は、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、
ポリ臭化ビフェニール（PBB）、ポリ臭化ジフェニールエーテル（PBDE）です。



この製品は、上記6物質について、基準値をクリアしております。

廃棄について

- 本製品を一般の家庭ごみと一緒に破棄しないでください。
- 本製品を弊社以外で、廃棄する場合は、地方自治体の条例又は規則に従って処分してください。
- 本製品は、「資源有効利用促進法」に基づき、廃棄に当たっては回収・再資源化が義務づけられている液晶モニターです。
- 本製品は、一般家庭向けではなく、業務用モニターです。有償にて回収対応させていただきます。
- 弊社は、回収業務を株式会社 ユニットコムに委託しております。有償回収をご希望される場合は、弊社ホームページより、お申し込み頂くか又は、直接ユニットコムのリサイクルページより、「業務系パソコンの回収はこちら」を選択してください。

株式会社 アユート

<http://www.aiuto-jp.co.jp/>

株式会社 ユニットコム パソコンリサイクルページ
http://www.unitcom.co.jp/work/pc_recycle.html

液晶ディスプレイについての注意事項

本製品では、以下のような症状が現れる場合がありますが、液晶ディスプレイ特性の症状であり、故障などではありません。あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

電源を入れた直後、画面が揺れる場合があります。また、液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。有効ドット数の割合は 99.99%以上です。

(有効ドット数の割合とはディスプレイの表示できる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合を示しています。)また、温度変化や使用条件によっては、多少の色むらや微少な斑点、スジが目立つ場合がありますが、これらは液晶ディスプレイ特性であり故障ではありません。

長時間同じ表示を続けると残像が現れる場合があります。残像は、しばらく経つと消えますが、この現象は、省電力機能を利用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーを使用する事により防ぐことができます。

視力の低下などを防止するために、以下の点にご注意ください。

- 屋内の適度な明るさの場所でご使用ください。
- 画面の明るさやコントラストは適切なレベルまで調整してください。
- 自然な姿勢で正面から見られるよう角度を調整してください。
- 長時間使用する場合には、1時間に10分程度、定期的に休憩をとって目を休めてください。
- 市販のフィルタには紫外線などを防止する効果のあるものもあります。

本製品の特徴

1. 27型 IPSモニター (LEDバックライト)
2. 16 : 9 WQHDスクリーン
3. 解像度 2560×1440 @60Hz
4. 高コントラスト 1000 : 1 (標準)
5. ステレオスピーカ 5w×2
6. プラグ&プレイ VESA DDC2B対応
7. 省電力設計 パワーマネージメント機能搭載
8. VESA マウント規格 (100mm×100mm) 対応

付属品

モニター体以外に下記の付属品が同梱されています。

1. 専用スタンド
2. ユーザーズマニュアル
3. 信号ケーブル （P C オーディオケーブル、D V I デュアルリンクケーブル）
4. A C アダプタ
5. 電源ケーブル （専用電源ケーブル）

* 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。

また、次のような場合はサポート及び保証の対象外となります。

■ 付属以外の電源コードをお使いになる場合

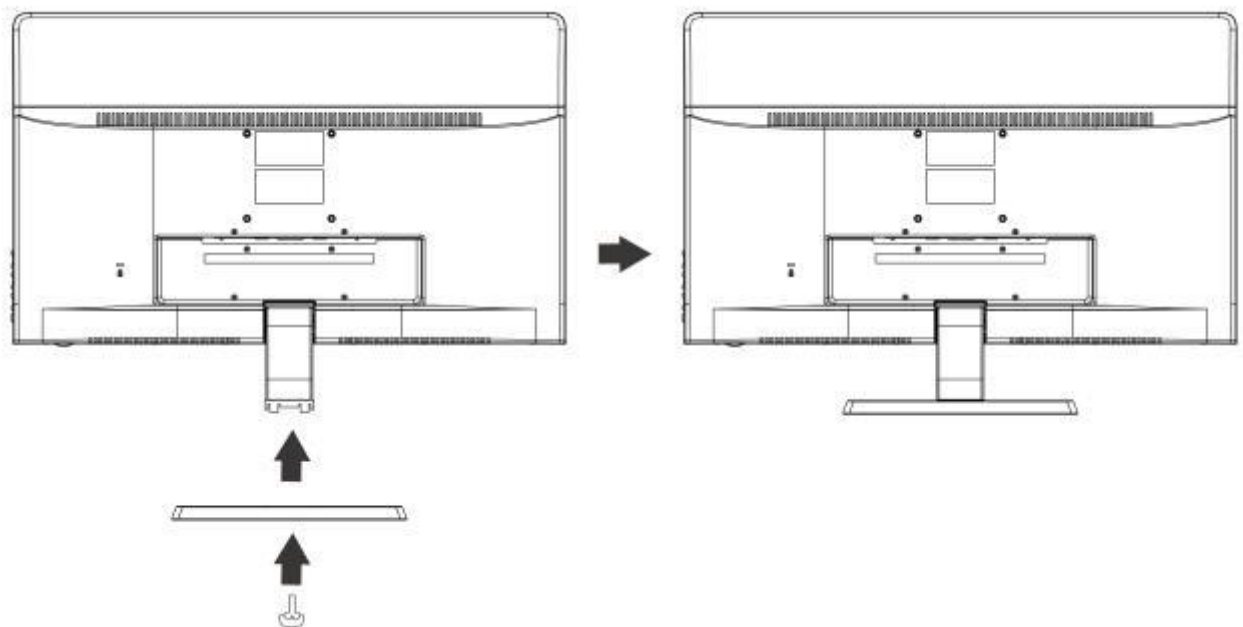
■ 日本以外の国でお使いになる場合

サポート及び保証の対象外となることをご承知の上、日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格にあった電源コードをご使用ください。

スタンドの取り付け

1. 平な台の上に、柔らかい布の様な物を敷き、その上にモニターのガラス面を下にし、静かに置いてください。
2. 付属のスタンドの首の部分を図のように、しっかりはめ込みます。次に、同じく付属している4つのねじを使って、スタンドの首を固定します。
3. スタンドの首が固定出来れば、次に足の部分をはめます。
4. 最後に、足の裏側から付属のネジを使って固定が完了すれば、スタンドの取り付けは完了です。

※モニターは重量があるため、落下させないように注意してください。怪我や故障の原因になります。



モニターの画面角度調整

モニターのパネルを前、または後ろに傾けて見やすい角度に調整できます。調整角度は前に5度、後ろには15度まで傾けることが可能です。



モニターの角度調整時の注意：

※手を挟まないように気を付けてください。怪我の原因になります。

※液晶ディスプレイに触れないように注意してください。故障の原因になります。

※調整角度には限界範囲があります。前に5度以上、後ろに15度以上は傾けないでください。

※角度調整時には、両手で動かすようにしてください。

信号ケーブルの接続

信号ケーブル

パソコンの出力ポートに、VGA/DVI/HDMI/DP のいずれか一つのケーブルの端子を接続してください。

もう一方の端子をモニターの入力ポートに接続し、ケーブル端子に固定ネジが付いている場合は、ネジを締めて、固定してください。固定ネジはパソコン側、モニター側の両方ともに締めてください。

※すべてのコネクタ、ケーブルを接続する必要はありません。

※目的に合った信号ケーブルをご使用ください。

電源コード

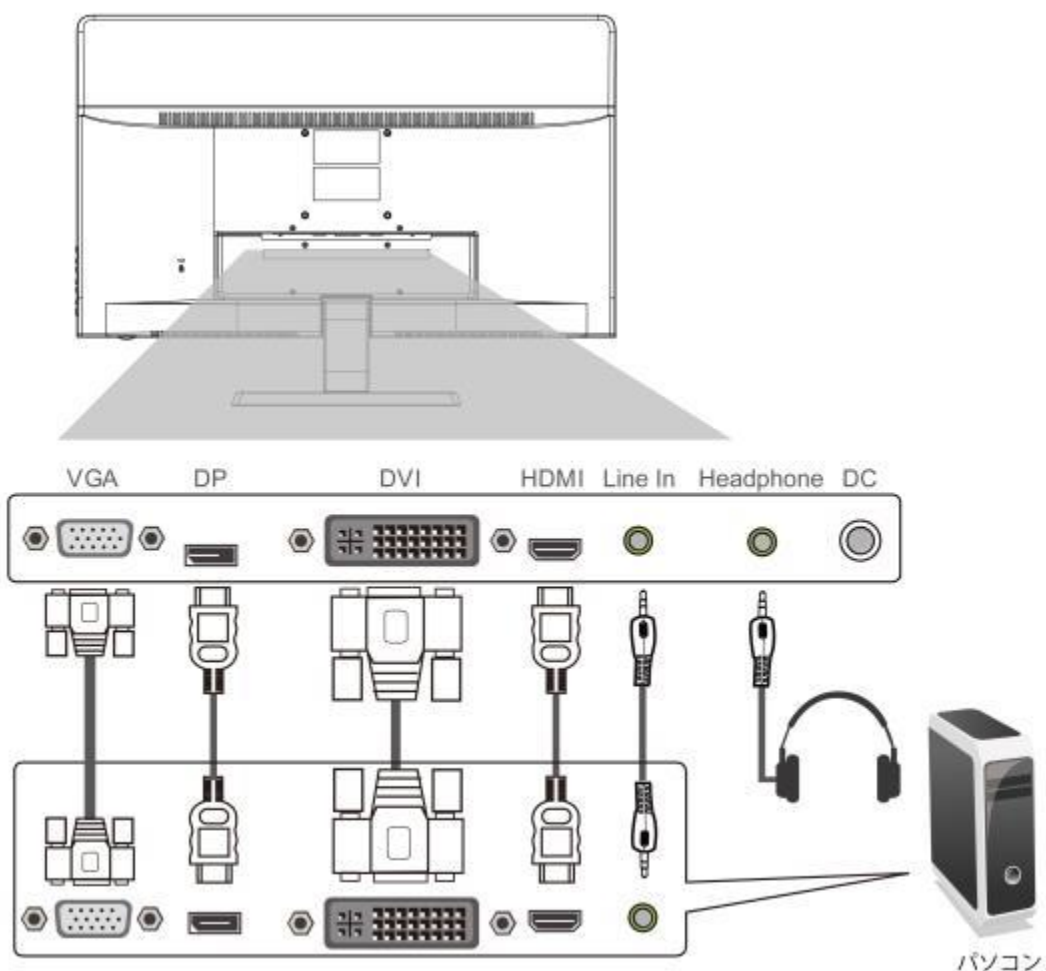
1. 本製品は100/120V,220/240Vに対応しておりますが、電源コードは100/120V専用です。使用の際には、100V の電源コンセントをご使用ください。
2. A Cアダプタに電源コードを差し込みます。
3. 電源コードを電源コンセントに差し込みます。

* 本製品に付属している電源ケーブルは、本製品専用です。他の機種に接続して使用しないでください。

4. A Cアダプタのコネクタを本製品に差し込みます。

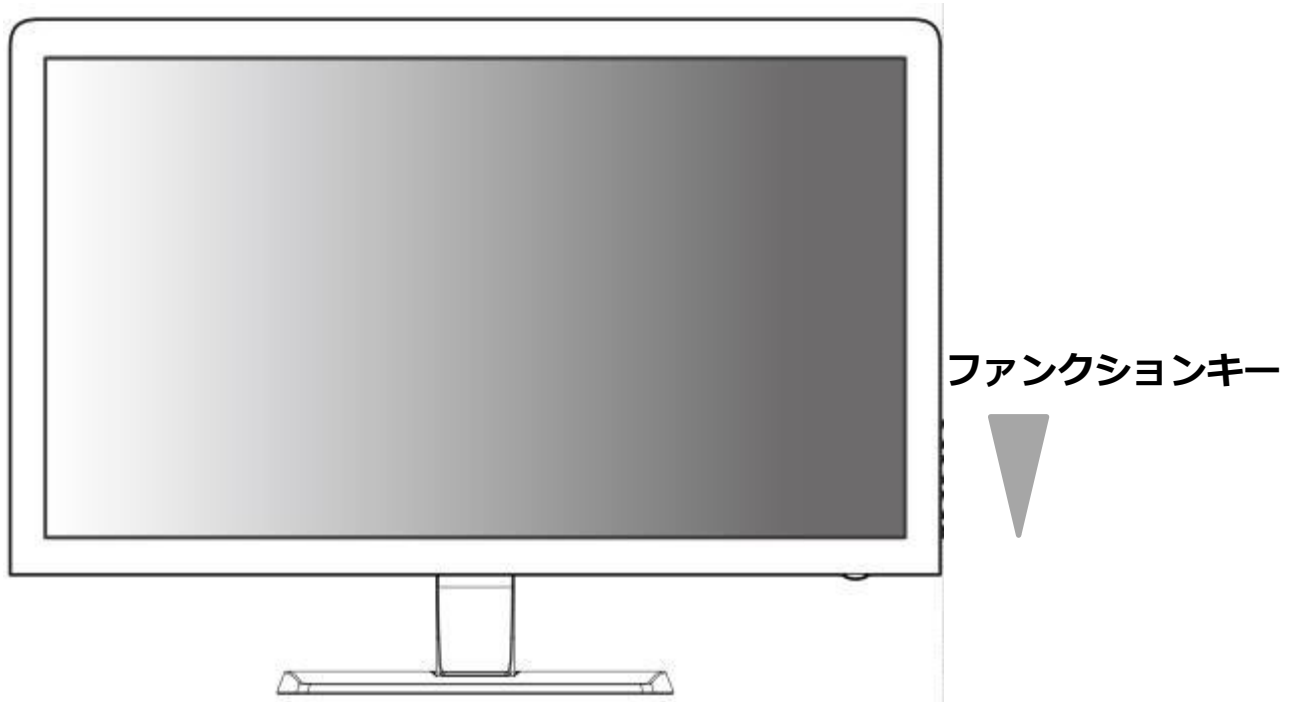
各部名称

1. 入力ポート（左から順）



1	VGA	VGA の入力ポート
2	DP	Displayport の入力ポート
3	DVI	DVI の入力ポート
4	HDMI	HDMI の入力ポート
5	Line In	アナログオーディオ入力ジャック
6	Headphone	ヘッドフォン/イヤホンへの出力ジャック
7	DC IN	電源の入力ジャック

2. ファンクションキー（上から下に）



1	MENUキー	OSDの表示/非表示を行います。 OSD選択時は、カーソルをひとつ前の状態に戻します。
2	SELECTキー	OSD未選択時は、ビデオ入力選択を行います。 OSD選択時は、メニュー画面へのカーソル移動を行います。
3	DOWNキー	OSD未選択時は、Scheme機能を直接呼び出します。 OSD選択時は、メニュー画面の選択、及びカーソルの下方移動を行います。
4	UPキー	OSD未選択時は、Scheme機能を直接呼び出します。 OSD選択時は、メニュー画面の選択、及びカーソルの上方移動を行います。
5	VOL－キー	OSD未選択時は、音量を小さくします。 OSD選択時は、SELECTで選択した項目内の各種項目の選択。
6	VOL＋キー	OSD未選択時は、音量を大きくします。 OSD選択時は、SELECTで選択した項目内の各種項目の選択。
7	POWERキー	電源のON／OFFを行います。

操作の概要

1. 基本操作

フロントパネル右、下部にある[電源キー]を押すことにより、モニターのON/OFFを行います。また、その他のファンクションキーを押すことにより、お客様のお好みに合わせた画像表示に調整することができます。[menu]キーにより設定用画面、OSD（On Screen Display）が表示されます。OSDの設定によりメニュー表示が英語版と日本語版が選べます。今後、ひとつの選択肢において言語設定による複数の表現がある場合は、[Language/言語]の様に並列表記します。

2. ファンクションキーの説明

[power]キー

緑 色：電源が入っている状態

明緑色：スタンバイに移行する状態

明赤色：スタンバイ状態

赤 色：電源が切れている状態

[VOL+]キー

OSD未表示の際は、音量を大きくします。

OSD表示中で、[select/up/down]キーでメニュー上の機能が選択されていない場合は、何も機能しません。

OSD表示中は、[select/up/down]キーでメニュー上の機能が選択されている場合は、黄色く反転表示されていた項目の値を、[VOL+/-]を使って調節します。

[VOL-]キー

OSD未表示の際は、音量を小さくします。

OSD表示中で、[select/up/down]キーでメニュー上の機能が選択されていない場合は、何も機能しません。

OSD表示中は、[select/up/down]キーでメニュー上の機能が選択されている場合は、黄色く反転表示されていた項目の値を、[VOL+/-]を使って調節します。

[UP]キー

OSDが表示されていない場合、[Scheme]機能を直接呼び出します。[UP]キーを押すと、Normal → Sport → Game → Cinema → Vivid → Normal の順に画面の状態が変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

OSDが表示されていて、[select]キーでメニュー画面が選択されていない場合は、各メニュー画面を切り替える事ができます。

OSDが表示されていて、[select]キーでメニュー画面が選択されている場合は、選択されたメニュー内の各項目を黄色い反転表示しながら、上方向に順に選択してゆきます。

[DOWN]キー

OSDが表示されていない場合、[Scheme]機能を直接呼び出します。[DOWN] キーを押すと、Normal → Vivid → Cinema → Game → Sport → Normal の順に画面の状態が変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

OSDが表示されていて、[select]キーでメニュー画面が選択されていない場合は、各メニュー画面を切り替える事ができます。

OSDが表示されていて、[select]キーでメニュー画面が選択されている場合は、選択されたメニュー内の各項目を黄色い反転表示しながら、下方向に順に選択してゆきます。

[select]キー

OSDが表示されていない場合、ビデオ入力の選択表示画面を出力します。OSD上で、[入力検出/Source Detect]がOFFになっている場合にのみ、ビデオ入力を手動で設定できます。入力は、[up/down]キーを使い、VGA→DVI→ HDMI→Displayport→V G Aの順に選択できます。確定は、[select]キーを押すことで決定できます。

OSD表示中は、各メニュー画面を選択します。[up/down]キーで選んだ項目を決定します。

[MENU]キー

OSDの表示、非表示を行います。

OSD表示中は、[MENU]キーを押すことで、[VOL +/-]キーや[up/down]キーで選択したひとつ前の状態に戻すことができます。

注意

- ※モニターを熱器具の近くや直射日光が当たる場所、また、ほこり、ちりの多いところや振動する場所に設置しないでください。
- ※モニターを輸送する際には、購入時の外箱と梱包材を再利用して梱包することをお勧めします。機器の開梱後は外箱と梱包材を捨てずに保管しておいてください。
- ※モニターを清掃する場合には、清掃前に必ずモニターをOFFにし、電源コードを抜いてください。
- ※ディスプレイを拭くときは、柔らかい布を軽く湿らせて（十分に水気を取る）優しく拭いてください。スプレー式のクリーナーや洗浄液などで、画面に直接吹きかけたりしないでください。クリーナーや洗浄液がベゼル裏側に入って感電、故障の原因になります。
- ※キャビネット部分（ディスプレイの外枠、裏面、スタンドなど）を拭く際には、傷がつかないように柔らかい布で軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の溶剤を使用すると、変色や塗料が剥げるなど、状態を損なう恐れがありますので、使用しないでください。

3. オンスクリーンディスプレイ（OSD）による一連の調整方法

- (1) [MENU]キーを押すとオンスクリーンディスプレイ（OSD）が表示されます。OSD上には、[Image Settings]、[Geometric/幾何補正]、[PBP Settings/画面分割]、[Audio Settings/オーディオセッティング]、[Setup]の5つのメニュー画面があります。
但し、[Geometric/幾何補正]は、VGAモードで画面出力されていなければ、選択することはできません。
- (2) [UP/DOWN]キーを使用して、OSD上のメニュー画面を選びます。
- (3) 調整、変更したい項目のあるメニュー画面が出てくると、次に[SELECT]キーを押します。すると、各メニュー画面の一番上の選択項目が黄色く反転表示され、現在その機能が選択されている事が示されます。
- (4) 各メニュー画面上の選択項目を選ぶには、[up/down]キーを使って黄色いカーソルを目的の項目まで移動させます。
- (5) メニュー画面上の選択項目の値は、[VOL+/-]キーを使って変更します。
- (6) 各選択項目、階層において、ひとつ前の状態に戻る場合は、[MENU]キーを押してください。
- (7) OSDを終了したい場合は、[MENU]キーを複数回押して、OSDが表示されない画面まで戻ってください。



各メニュー画面の説明

1. [SETUP]メニュー

使用言語など、基本的なセットアップを行います。

[MENU]→[UP/DOWN]キーで、[SETUP]メニューを選択します。

英語版メニュー



日本語版メニュー



(1) Language/言語

メニュー画面や選択画面に使用する言語を選択する項目です。

[SELECT]で、[Language/言語]を選択、カーソル移動させる場合は、[UP/DOWN]キーで [Language/言語]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、English → 日本語 → English の順に画面に出力されている文字が 直ちに変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(2) DCDi

映像のジャギー(ギザギザのエッジ)を低減する機能、画質輪郭補正技術「DCDi (Directional Correlational Deinterlacing)」のON/OFFを行います。

[SELECT]で、[DCDi]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[DCDi]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、On → Off → On の順に変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(3) DLC

映像の輝度補正技術「DLC (Digital Luminance Correction) 」機能のON/OFFを行います。

[SELECT]で、[DLC]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[DLC]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、On → Off → On の順に変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(4) Color Domain/Color Space

入出力信号の色信号を指定することができます。

[SELECT]で、[Color Domain/Color Space]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Color Domain/Color Space]まで、カーソルを移動させます。そして、[SELECT] を押し、次のメニュー画面を出力させます。そして[UP/DOWN]キーを使って、[Input Color]又は、[Output Color]を選択します。

後は、[VOL+/-]を押すことで、Auto/自動 → RGB → YUV Full → YUV Reduce → Auto/自動の順に選択できるので、目的とする入力色信号設定に変更します。希望する入力状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(5) Source Detect/入力検出

モニターに接続された入力信号（VGA、HDMI等）を自動的に判断して切り替える機能の、ON/OFFができます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、Auto → Off → Auto の順に変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

Autoのままでは、[SELECT]スイッチで入力を切り替えても、自動判定が優先されます。[SELECT]スイッチを有効にするには、[Source Detect/入力検出]が[Off]に設定されている必要があります。

また、Auto時には、入力の優先順位は、以下の通りになります。

VGA < DVI < HDMI < Display Port

(6) Factory Reset/工場出荷持設定

モニターの各種設定を、工場出荷持状態に戻します。

[SELECT]で、[Factory Reset/工場出荷持設定]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで [Factory Reset/工場出荷持設定]まで、カーソルを移動させます。

次に、[Factory Reset/工場出荷持設定]が選択されている状態で、もう一度 [SELECT] 押すと、画面がブラックアウトし、各種設定が工場出荷持モードに変更されます。

工場出荷持設定は、

[Image Settings]

Brightness:50、Contrast:50、Sharpness:12、Scheme:Normal、Aspect Ratio:Full Screen、
Color Temp:6500K

[PBP Settings]

PIP Mode:Off、PIP Position:Bottom-Right、PIP Source:Displayport

[Audio Settings]

Mute:Off、Volume:30、Main Input:Auto、Main Output:Speaker、Pip Input:Auto

Pip Output:HeadPhone

[Setup]

Language:English、DCDi:On、DLC:On、Color Domain、Input Color:Auto、Output Color:Auto

Source Detect:Auto、Factory Reset

2. [Audio Settings/オーディオセッティング]メニュー

モニター側へのオーディオ入力など、音源周りの管理を行います。

[MENU]→[UP/DOWN]キーで、[Audio Settings/オーディオセッティング]メニューを選択します。

英語版メニュー



日本語版メニュー



(1) Mute/ミュート

モニター内蔵スピーカのミュートのON/OFFを行います。

[SELECT]で、[Mute/ミュート]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Mute/ミュート]]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、On → Off → On の順に変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(2) Volume

内蔵スピーカの音量調節をします。OSDが出力されていない場合は、直接[VOL +/-]キーを使っても可能です。

[SELECT]で、[Volume]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Volume]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]で調整します。調整が終われば、そのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。

(3) Main input

モニター側への音源入力の選択を行います。

[SELECT]で、[Main input]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Main input]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、Auto → Line In→ Auto の順に画面の状態が変化します。希望する画

面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。

また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

Auto:入力の自動判定をします。

Line In:モニター本体のアナログ入力

(4) Main output

モニター側の音源出力先の選択を行います。

[SELECT]で、[Main output]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Main output]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、Speaker/スピーカ → HeadPhone/ヘッドフォン → Speaker/スピーカの順に画面の状態が変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(5) Pip Input/PIP Input

PIPで表示される子画面への音源入力先を選択します。

[SELECT]で、[Pip Input/PIP Input]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Pip Input/PIP Input]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、Auto → Line In → Auto の順に画面の状態が変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(6) Pip Output/PIP Output

PIPで表示される子画面からの音源出力先を選択します。

[SELECT]で、[Pip Output/PIP Output]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Pip Output/PIP Output]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、Speaker/スピーカ → HeadPhone/ヘッドフォン → Speaker/スピーカの順に画面の状態が変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

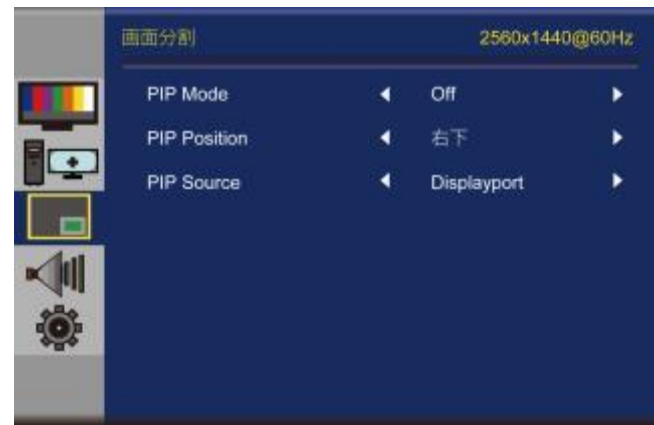
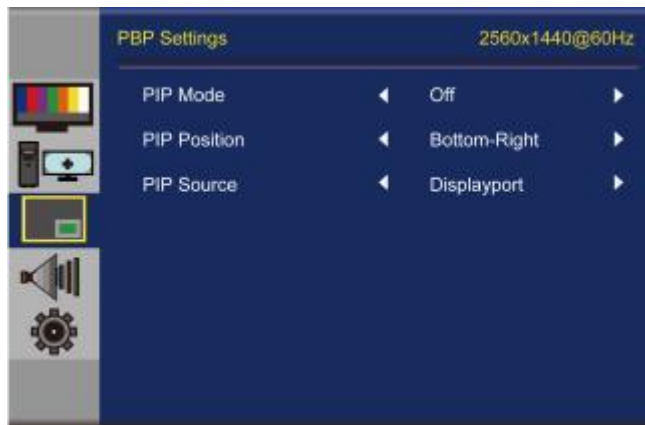
3. [PBP Settings/画面分割]メニュー

画面分割及びPIP（Picture In Picture）の設定を行います。

[MENU]→[UP/DOWN]キーで、[PBP Settings/画面分割]メニューを選択します。

英語版メニュー

日本語版メニュー



(1) PIP Mode

[SELECT]で、[PIP Mode]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[PIP Mode]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、Off → Small PIP → Small 16:9 → Large PIP → Large 16:9 → POP 4:3 → POP → Off の順に画面の状態が変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で分割画面（又は、元のままの画面）が出力されます。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

Small PIP: 640×480

Small 16:9 640×360

Large PIP: 960×720

Large 16:9: 960×540

POP 4:3:画面上左側に4:3の比率で標準画面が出力されます。

1280×1024

POP: 画面を縦に2分割します。 1280×1440

(2) PIP Position

PIP画面を画面上の上下、左右、4カ所の角に表示する選択をします。

[SELECT]で、[PIP Position]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[PIP Position]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、Bottom-Right/右下 → Top-Left/左上 → Top-Right/右上 → Bottom-Left/左下 → Bottom-Right/右下 の順に画面の状態が変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態でPIP画面が出力（又は、元のままの）画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(3) PIP Source

PIP画面への入力選択を行います。

[SELECT]で、[PIP Source]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[PIP Source]まで、カーソルを移動させます。

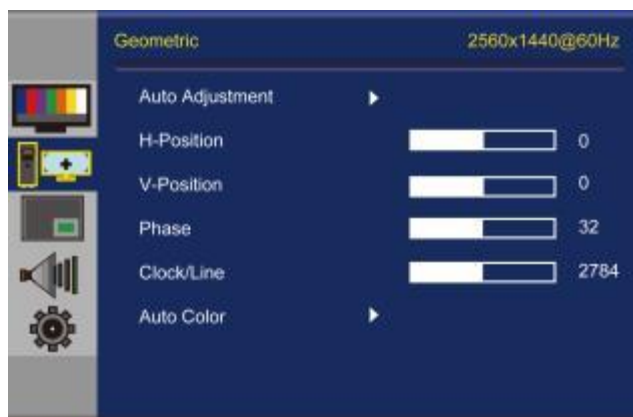
後は、[VOL+/-]を押すことで、Displayport → VGA → Displayport の順に画面の状態が変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態でPIP画面が出力（又は、元のままの）画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

4. [Geometric/幾何補正]メニュー

VGA（アナログ）入力時のみ選択できます。HDMI その他デジタル入力時には選択できません。VGA入力時の画面上の位置や大きさ、文字のにじみ具合等の調節を行います。

[MENU]→[UP/DOWN]キーで、[Geometric/幾何補正]メニューを選択します。

英語版メニュー



日本語版メニュー



(1) Auto Adjustment

アナログ入力時の画面調整を自動で行います。

[SELECT]で、[Auto Adjustment]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで [Auto Adjustment]まで、カーソルを移動させます。

次に、[Auto Adjustment]が選択されている状態で、もう一度 [SELECT] 押すと、画面がフラッシュ（一瞬ちらつく）して、自動調整されます。

自動調節された値は、

H-Position:0、V-Position:0、Phase:44、Clocks/Line:2764

また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

*[MENU]キーを、3秒長押しすると、直接[Auto Adjustment]機能が実行されます。

(2) H-Position

アナログ入力時の画面の水平位置を調節します。

[SELECT]で、[H-Position]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[H-Position]]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]で画面が水平に左右に動きますので、これを使って調整します。調整が終われば、そのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。

また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(3) V-Position

アナログ入力時の画面の垂直位置を調節します。

[SELECT]で、[V-Position]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[V-Position]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]で画面が垂直に上下しますので、これを使って調整します。調整が終われば、そのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。

また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(4) Phase

アナログ入力時、模様や文字がにじんだり、ちらついている場合に調整します。

[SELECT]で、[Phase]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Phase]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、0 ↔ 63の間で、画面の状態が変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。

また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(5) Clock/Line

アナログ入力時、画面の左右の大きさを大きくしたり、小さくしたりする場合に使用します。

[SELECT]で、[Clock/Line]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Clock/Line]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、画面が左右に大きくなったり、小さくなったり変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。

また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(6) Auto Color

[SELECT]で、[Auto Color]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Auto Color]まで、カーソルを移動させます。もう一度 [SELECT] 押すと、画面がブラックアウトして、自動調整されます。RGBの色調節の値をニュートラルの127に戻します。

5. [Image Settings]メニュー

画面の明るさやコントラストなど、直接の画面周りの調整画面です。

[MENU]→[UP/DOWN]キーで、[Image Settings]メニューを選択します。

英語版メニュー

日本語版メニュー



(1) Brightness

[SELECT]で、[Brightness]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Brightness]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]で調整します。調整が終われば、そのままにしておけば、調整済み画面で固定されます。

(2) Contrast

[SELECT]で、[Contrast]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Contrast]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]で調整します。調整が終われば、そのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。

(3) Sharpness/シャープネス

[SELECT]で、[Sharpness/シャープネス]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Sharpness/シャープネス]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]で調整します。調整が終われば、そのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。

(4) Scheme

[SELECT]で、[Scheme]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Scheme]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、Normal/ノーマル → Vivid → Cinema → Game → Sport → Normal/

ノーマル の順に画面の状態が変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。

また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(5) Aspect Ratio/アスペクト比

[SELECT]で、[Aspect Ratio/アスペクト比]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Aspect Ratio/アスペクト比]まで、カーソルを移動させます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、Full Screen → 4:3 → Full Screen の順に画面アスペクト比が変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

(6) Color Temp/色温度

[SELECT]で、[Color Temp/色温度]を選択、カーソル移動する場合は、[UP/DOWN]キーで[Color Temp/色温度]まで、カーソルを移動させます。もう一度、[SELECT]を押すと[Color Temp/色温度]の選択画面が出力されます。

後は、[VOL+/-]を押すことで、6500K → 7500k → 9300k → User → 6500K の順に画面の状態が変化します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。

但し、[USER]を選択すると、ユーザが好きな色温度を設定できる新しいメニュー画面が出力されます。ここで、ユーザが独自の色温度を設定する場合は、[UP/DOWN]キーを使って、[Read Gain] [Green Gain] [Blue Gain]を選択します。

後は、[VOL+/-]を押すことで、各Gainを調整します。希望する画面状態にしてそのままにしておけば、その設定内容が保存された状態で元の画面に戻ります。また、[MENU]キーを押せばひとつ前の状態に戻ります。

トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

トラブル	解決方法
電源キーが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源キーを押してください。 ・電源コードがコンセントに正しく差し込まれている、ACアダプタのコードが正しく差し込まれていることを確認してください。
画面が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ・明るさ、若しくはコントラストを上げて調整してください
画面がちらつく、ゆがむ	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターの付近に電波妨害を発している機器がないかを確認してください。 ・スピーカやラジオなどが近くにある場合は、モニターより離してください。
キーは点灯しているが、画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの電源が切れていないかを確認してください。 ・信号ケーブルが正しく挿さっているかを確認してください。 ・間違った信号ケーブルが使用されていないかを確認してください。 ・信号ケーブルのコネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないかを確認してください。 ・キーボードの[Caps Lock]キーを押して、キーボード上のランプが点灯するかを確認してください
画面の色が白黒	<ul style="list-style-type: none"> ・信号ケーブルが正しく挿さっているかを確認してください。 ・信号ケーブルのコネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないかを確認してください ・OSD のカラー調整を確認してください
画像サイズが正しくない	<ul style="list-style-type: none"> ・OSD の画像調整を確認してください
画面の色が正常ではない (白が純粋な白に見えない)	<ul style="list-style-type: none"> ・OSD のカラー調整を確認してください
画面が暗くなる、ちらつく	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい液晶パネルと交換する必要があります。 販売店へご相談ください ※液晶ディスプレイには寿命があります。経年劣化による暗さや、ちらつきは故障ではありません
画像の水平、垂直がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを終了させて、OSDの画像調整を確認してください

■周波数と解像度が正しく設定されていない場合には、画面に縦縞が現れたり、間違った横幅で表示されることがあります。また、画像や文字がぼけたり、ゆがんだり、画面がちらついたりすることがあります。その場合には、[パソコンを一旦終了させてから、OSDの画像調整を行ってください。

■信号ケーブルが正しく接続されていない場合には、画面が表示されなかったり、画像の色がおかしかったり、ゆがんで表示されることがあります。その場合には、

- 1.接続されているケーブルのコネクタの固定ネジが緩んでいないことを確認してください。
- 2.ケーブルコネクタのピンが曲がったり、破損していないか確認してください。

また、コンピュータの入力信号のタイミングによっては、正しく表示できない場合もあります。一度コンピュータを再起動することにより正しい信号に改善する場合があります。

仕様

液晶ディスプレイ	液晶方法	I P S パネル (光沢タイプ)
	サイズ (表示サイズ)	27型 (597×336mm)
	ドットピッチ(mm)	0.233×0.233
	解像度 (最大)	2 5 6 0 × 1 4 4 0 (WQHD)
入力端子	V G A	D - S u b 1 5 ピンコネクタ
	D V I	D V I - D コネクタ
	D P	D P Ver. 1.2 コネクタ
	H D M I	H D M I Ver. 1.4 コネクタ
周波数	H F R (水平周波数)	3 0 ~ 9 0 k H z
	V F R (垂直周波数)	5 5 ~ 7 5 H z
P N P (プラグアンドプレイ)	V E S A D D C 2 B	
消費電力	標準	< 9 0 W
	スタンバイ	≤ 1 W
入力電源		A C 1 0 0 - 2 4 0 V , 5 0 - 6 0 H z
環境条件		動作温度 : 0 ~ 3 5 ℃
		動作湿度 : 2 0 ~ 8 0 %
		保管温度 : - 2 0 ~ 6 0 ℃
寸法 (mm) スタンドを除く		653(L)×390(W)×19.2~49.3 (H)
重量 (K g)		約5.5 K g

プリセットディスプレイモード（解像度）

以下に表示されるディスプレイ解像度は、本製品で使用するもっとも標準的なもので、初期設定として設定された、工場出荷時のデフォルト値です。コンピュータに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピュータによって画面にちらつきやにじみが生じることがあります。

ディスプレイ解像度		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック (MHz)
DOSモード	720x400	31.5	70.0	28.3
VGA	640x480	31.5	60.0	25.2
	640x480	37.5	75.0	31.5
SVGA	800x600	37.9	60.0	40.0
	800x600	46.9	75.0	49.5
XGA	1024x768	48.4	60.0	65.0
	1024x768	60.0	75.0	78.8
XGA+	1152x864	67.5	75.0	108.0
SXGA	1280x1024	64.0	60.0	108.0
	1280x1024	80.0	75.0	135.0
WSXGA+	1680x1050	75.0	60.0	146.3
Full HD	1920x1080	67.5	60.0	148.5
	1920x1080	55.6	49.9	141.5
WQHD	2560x1440	88.8	60.0	241.5



株式会社 アユート

2013年12月1日 Vol.1